

地歴公民 (世界史) 東京大学 (前期) 1/3

第1問

5 10 15 20 25 30

北米植民地は、アメリカ独立革命によって君主政のイギリスから独立して共和政のアメリカ合衆国となり、人民主権の憲法を定めた。フランスでは革命で絶対王政が倒れ、複数の憲法が制定され政体に変化した後、帝政を経て王政が復古した。君主政国家が主導しナシ

5 ョナリズムを抑圧するウィーン体制下の中南米では、シモン＝ボリバルらの指導でスペイン植民地から共和政国家が独立したが、ポルトガルから独立したブラジルは当初帝政を採用した。フランスが二月革命で男性普通選挙の共和政へと移行したのに対し、各地へ波及した革命は鎮圧された。一方、君主主導で立憲政をめざす動きが生

10 じ、統一されたドイツ帝国の憲法では、帝国議会議員は男性普通選挙で選出されるものの、宰相は皇帝に対してのみ責任を負う外見的立憲体制であった。列強の進出をうけた東アジアでは、日本が明治維新を経て近代化を図り、ドイツに倣った大日本帝国憲法を制定し立憲君主政となった。中国では清朝が光緒新政で保皇立憲をめざし

15 たが、辛亥革命で共和政の中華民国が成立し、滅亡した。第一次世界大戦中の革命でロシア帝国とドイツ帝国が、敗戦をうけてオーストリア帝国が解体し、民族自決の原則に基づくヴェルサイユ体制では、旧ロシア・オーストリア領の地域で多くの共和政国家が独立した。大戦を機にロシア、選挙法改正が進んでいたイギリス、共和国

20 となったドイツやアメリカでは女性参政権も認められた。

地歴公民 (世界史) 東京大学 (前期) 2/3

第2問

5 10 15 20 25 30

(1)

(a) 呉、建業、西晋(晋)

5 (b) 従来の穀倉地帯であった長江下流域で綿織物・絹織物などの家内制手工業が発展し、原料となる綿花や養蚕に用いる桑など商品作物の生産に転換したため、長江中流域が新たな穀倉地帯となった。

(2)

(a) アッバース朝、バグダード

10 (b) 騎馬に長じたトルコ系の軍人奴隷で、カリフの親衛隊として軍事の中核を担ったが、やがて政治に介入しカリフの廃立を左右した。

(c) 当初ヘレニズムの影響が強くギリシア語を用いたパルティアは、やがてイランの土着文化を重視し、ペルシア語を公用語とした。

(3)

(a) ナイル川の定期的な増水・氾濫でもたらされる肥沃な土壌を用い、水が引いた後に小麦などを栽培する灌漑農業がおこなわれた。

15 (b) カーリミー商人がインド商人から香辛料・陶磁器を買い付け、アレクサンドリアでイタリア商人のもたらす銀・毛織物と交換した。

地歴公民 (世界史) 東京大学 (前期) 3/3

第3問

5 10 15 20 25 30

- | | |
|----|-------------|
| | (1)ペロポネソス戦争 |
| | (2)『デカメロン』 |
| | (3)『本草綱目』 |
| | (4)バタヴィア |
| 5 | (5)コッホ |
| | (6)京都議定書 |
| | (7)茶 |
| | (8)マウリヤ朝 |
| | (9)イブン=シーナー |
| 10 | (10)陰陽家 |